

平成27年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 福井市下水道部	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 下水道部下水管理課 桑名 達也
代表者氏名 部長 國枝 俊昭	電話：0776-20-5652 Fax:0776-20-5663 E-mail: gkanri@city.fukui.lg.jp
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 広報部門 ①行政広報部門	事例名 下水道啓発録（下水道部の心得）
---------------------	------------------------

事例の概要
福井市の偉人である橋本左内先生が自分の生き方の指針として記した「啓発録」に基づき、下水道部職員が自らの業務の役割を認識し、使命感を持って業務に取り組むように下水道啓発録（下水道部の心得）を策定しました。その下水道啓発録を、職場に掲示することやホームページに公開することで、市民に下水道を注目してもらうとともに、下水道部職員の意識向上につなげることが目的です。なお、下水道の日（9月10日）にちなみ、毎月10日に職員で唱和を行っています。

■ 下水道啓発録

一、過信を去る

災害が起こってもなんとかなるだろうという他人まかせの甘い心を捨て去る

二、コスト意識を持つ

下水道事業は公営企業であることを認識し、常にコスト意識を持って、職員が一丸となり安定経営を目指す

三、将来を描く

市民目線に立った安全・安心な下水道を目標とし、長期的視点を持って、努力する

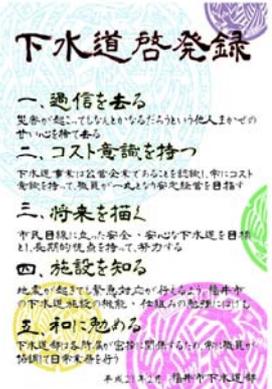
四、施設を知る

地震が起きても緊急対応が行えるよう、福井市の下水道施設の機能・仕組みの勉強にはげむ

五、和に勉める

下水道部は各所属が密接に関係するため、常に職員が協調して日常業務を行う

▼ホームページ掲載



▼職場掲示



エントリー事例の特徴

下水道の広報というと、下水道の仕組み等を市民向けに発信するのが一般的だと思いますが、市職員向けの仕事の心得を市民に伝えることにより、市民に下水道へ目を向けてもらうという手法が新しい取り組みだと思います。

付属資料の提出

あり ・ なし （どちらかに○）